

病害虫発生予察情報

8月月報

平成21年9月14日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2009年 8月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	30.2	-0.4	23.7	1.0	26.3	0.1	65.0	116	17.2	32
中旬	31.9	1.4	23.1	0.8	27.0	0.7	1.0	2	62.1	114
下旬	29.7	-0.5	21.0	-1.7	25.0	-1.0	82.0	122	54.2	88
平均	30.6	0.2	22.6	-0.2	26.1	-0.1				
合計							148.0	81	133.5	79

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979~2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬は平年並、下旬は低かった。

降 水 量：上・下旬は平年に比べ多く、中旬は少なかった。

日照時間：上旬は平年に比べかなり少なく、中・下旬は平年並であった。

<天候概況>

上旬：前線や南よりの湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：はじめは台風第9号の影響や低気圧から延びる前線の影響で曇りや雨となったが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

下旬：はじめは前線や気圧の谷の影響で雨の日が多く、期間の中ごろは晴れの日が多かった。31日は台風第11号の影響で大雨となった。

2 作物生育概況

(1)イネ

生育は概ね順調であるが、一部地域でいもち病の発生がみられるので、収量等への影響が懸念される。

(2)野 菜 類

果菜類：抑制トマトは概ね順調な生育を示しているが、一部で生理障害や黄化葉巻病などがみられている。ナスは全体的に樹勢がやや弱い傾向にあった。イチゴ苗の生育は概ね順調であるが、天候の影響により一部で不時出蕾がみられ、また、炭疽病の発生もみられている。

葉根菜類：コマツナは概ね順調である。キャベツ、ブロッコリーの定植後の生育は乾燥の影響が、ややみられたものの、現在は概ね順調な生育を示している。ダイコンは乾燥でやや発芽不良の傾向があった。ニンジンについては一部で乾燥の影響を受けたが、概ね順調である。

イモ類：サトイモの生育は概ね順調であるが、地上部がやや過繁茂ぎみである。

サツマイモは順調に生育している。

(4)果樹：農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要生品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

ブドウ：‘高尾’収穫始 8月10日(-16日)

‘藤稔’収穫始 8月20日(-15日)

ナシ：灰色低地土圃場におけるナシ主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。幸水では、やや果肉先熟の傾向が見られた。

‘幸水’収穫始 8月17日(+1日)

‘稲城’収穫始 8月19日(-7日)

‘秀玉’収穫始 8月17日(-13日)

(5)茶 樹

生育はおおむね順調であった。

3 病害虫の発生概況

(1)イネの病害虫

いもち病	< やや多 >	発生はやや多く、山間では穂いもちの発生が認められた。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
シンガレセンチュウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2)果樹の病害虫

ナ シ

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ニセナシサビダニ < 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

果樹共通

カメムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。
予察灯の誘殺数はやや多い。

(3)茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

チャノコカクモンハマキ < やや少 > 発生はやや少なかった。

チャハマキ < 少 > 発生は少なかった。

チャノホソガ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(4)野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバココナジラミ	< 並 >	発生は平年並であった。 収穫終期の半促成栽培で多発している圃場があった。

キュウリ

べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

エダマメ

ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ダイズサヤムシガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ピーマン

タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

キャベツ

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

サツマイモ

イモキバガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナカジロシタバ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

セスジスズメ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ショウガ		
紋枯病	< やや多 >	発生はやや多かった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5)花きの病害虫

キク		
ミカンキイロアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(6)植木の病害虫

街路樹など		
チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
モンクロシャチホコ	< 並 >	発生は平年並であった。 梢全体が食害されている木もある。
トチノキヒメヨコバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。 街路樹で樹全体が黄褐色化する割合が増加している。
プラタナスグンバイ	< やや多 >	発生はやや多かった。 街路樹で樹全体が黄褐色化する割合が増加している。

(7)島しょの病害虫

八丈町:切葉類ではレザーファンのコガネムシ類、ロベのニセアカマエアツバ、ムラサキイラガ、ルスカスのコウジカビ病の発生が多かった。野菜類では全体的にアブラムシ類の発生が多く、作物別に見ると、アシタバではハナウドモグリガおよび軟腐病、オクラではハマキムシ類およびカメムシ類の発生が多かった。

大島、利島、新島、神津島、三宅島および小笠原諸島で発生が多い病害虫は報告されなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	8月10日	9月11日	0	0
大田市場	8月10日	9月11日	0	0
板橋市場	8月10日	9月11日	0	0
淀橋市場	8月10日	9月11日	0	0
足立青果市場	8月10日	9月11日	0	0
小平青果市場	8月11日	9月10日	0	0
八王子北野市場	8月11日	9月10日	0	0
昭島市場	8月11日	9月10日	0	0
国立市場	8月11日	9月10日	0	0
東久留米市場	8月11日	9月10日	0	0
備考	小平青果市場、国立市場および足立青果市場のユーゲルアトラップで各1頭のミスジミバエが採集された。			

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。